

# 令和3年度 農作物病虫害発生予察8月月報

令和3年(2021年)9月1日  
山口県病虫害防除所

## I 気象概況

アメダス山口県山口地点

月・半旬	気 温 (°C)								
	平均			最 高			最 低		
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差
8.1	29.2	28.0	1.2	35.2	33.4	1.8	25.4	24.0	1.4
8.2	28.3	28.0	0.3	34.1	33.3	0.8	24.2	24.0	0.2
8.3	23.9	27.7	△ 3.8	26.7	33.0	△ 6.3	22.0	23.8	△ 1.8
8.4	24.5	27.3	△ 2.8	27.6	32.6	△ 5.0	22.5	23.4	△ 0.9
8.5	26.2	26.9	△ 0.7	29.8	32.1	△ 2.3	24.1	22.9	1.2
8.6	27.6	26.3	1.3	33.6	31.5	2.1	23.2	22.4	0.8
平均・計	26.6	27.4	△ 0.8	31.2	32.7	△ 1.5	23.6	23.4	0.2
月・半旬	降水量(mm)			日照時間(h)					
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差			
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差			
8.1	2.0	27.8	△ 25.8	43.9	34.8	9.1			
8.2	81.5	27.1	54.4	31.6	34.1	△ 2.5			
8.3	385.0	31.6	353.4	3.0	32.0	△ 29.0			
8.4	102.0	34.9	67.1	6.7	30.5	△ 23.8			
8.5	51.0	35.0	16.0	8.4	29.5	△ 21.1			
8.6	2.0	42.6	△ 40.6	36.1	33.6	2.5			
平均・計	623.5	199.0	424.5	129.7	194.5	△ 64.8			

## II 作物の生育状況

- (1) イネ : 早生の出穂期は平年並み～やや早くなった。中生～晩生については、莖数は平年並みで、出穂期は概ね平年並みだが、バラつきがみられる。
- (2) ダイズ : 6月播種の開花期は概ね平年並み。8月第2半旬からの長雨・低温により莢伸長がやや遅い。
- (2) カンキツ : 果実肥大は、7月下旬からの無降雨により、鈍化傾向が見られたが、8月の多雨により促進され、平年並みから平年並みより大きい産地・品種が多い。果実品質は糖・酸ともに低い傾向が見られる。

### Ⅲ 病害虫の発生状況

#### 1 普通作物

2021年8月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)
イネ いもち病(葉いもち) (調査ほ場数：上旬86、 下旬73)	上旬の巡回調査では、発生ほ場率30.2% (平成20.7%)、発病株率14.7% (平成 7.7%)、発病度4.0 (平成2.0) で平年に 比べやや多かった。病斑は主に停滞型で あった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率21.9% (平成12.9%)、発病株率11.1% (平成 4.6%)、発病度3.5 (平成1.2) で平年 に比べやや多かった。病斑は停滞型で あった。	県内全域	多 231
			中 1,617
			少 4,158
			計 6,006
いもち病(穂いもち) (調査ほ場数：上旬22、 下旬57)	上旬の巡回調査では、発生ほ場率4.5% (平成4.7%)、発病株率0.2% (平成 0.9%)、発病度0.0 (平成0.0) で平年並 みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率33.3% (平成14.1%)、発病株率7.6% (平成 3.0%)、発病度2.1 (平成0.3) で平年 に比べ多かった。一部ほ場で多発生がみ られた。	県内全域	甚 231
			中 231
			少 3,927
			計 4,389
紋枯病 (調査ほ場数：上旬86、 下旬86)	上旬の巡回調査では、発生ほ場率5.8% (平成10.6%)、発病株率0.7% (平成 1.3%)、発病度0.2 (平成0.4) で平年 に比べやや少なかった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率23.3% (平成20.9%)、発病株率2.8% (平成 3.2%)、発病度0.8 (平成1.1) で平年 並みであった。	県内全域	少 4,620
ごま葉枯病	上旬の巡回調査では、発生ほ場率12.8% (平成9.0%)、発病株率3.6% (平成 2.6%)、発病度0.9 (平成0.7) で平年 に比べやや多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率16.3% (平成17.3%)、発病株率7.1% (平成 7.7%)、発病度1.8 (平成2.0) で平年 並みであった。	県内全域	中 924
			少 2,310
			計 3,234
縞葉枯病	上旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平成0.9%)、発病株率0% (平成 0.0%) で平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平成1.4%)、発病株率0% (平成 0.1%) で平年並みであった。	—	—

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)
イネ 白葉枯病	上旬の巡回調査の巡回調査では、発生は認められず平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年0.1%)、発病株率0% (平年0.0%)、発病度0 (平年0.0) で平年並みであった。	—	—
黄化萎縮病 萎縮病	上旬、下旬の巡回調査では、発生は認められず平年並みであった。	—	—
もみ枯細菌病 (調査ほ場数：上旬4、下旬40)	上旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年1.4%)、発病株率0% (平年0.1%)、発病穂率0% (平年0.0%) で平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年5.2%)、発病株率0% (平年0.7%)、発病穂率0% (平年0.1%) で平年並みであった。	—	—
ツマグロヨコバイ (調査ほ場数：86)	上旬の巡回調査では、発生ほ場率9.3% (平年33.8%)、10株当たり虫数0.1頭 (平年1.4頭) で平年に比べ少なかった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率16.3% (平年20.4%)、10株当たり虫数0.2頭 (平年0.6頭) で平年に比べやや少なかった。	県内全域	少 3,234
セジロウンカ	上旬の巡回調査では、発生ほ場率18.6% (平年67.8%)、10株当たり虫数0.4頭 (平年25.6頭) で平年に比べ少なかった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率20.9% (平年49.8%)、10株当たり虫数0.8頭 (平年9.8頭) で平年に比べ少なかった。	県内全域	少 4,158
トビイロウンカ	上旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年21.5%)、10株当たり虫数0頭 (平年3.2頭)、10株当たり短翅型成虫数0頭 (平年1.0頭) で平年に比べやや少なかった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年32.2%)、10株当たり虫数0頭 (平年33.4頭)、10株当たり短翅型成虫数0頭 (平年0.6頭) で平年に比べやや少なかった。 8月26日、下関市の巡回ほ場以外のほ場において、長翅成虫が確認された。	下関市	—

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)
イネ コブノメイガ	<p>上旬の巡回調査では、発生ほ場率10.5% (平年31.5%)、被害株率0.1% (平年8.2%)、被害葉率0.0% (平年0.6%)、20回払い出し虫数0.0頭 (平年0.7頭) で平年に比べやや少なかった。</p> <p>下旬の巡回調査では、発生ほ場率7.0% (平年29.9%)、被害株率0.4% (平年10.6%)、被害葉率0.0% (平年0.9%)、20回払い出し虫数0.0頭 (平年1.1頭) で平年に比べやや少なかった。</p>	県内全域	少 2,079
イチモンジセセリ (イネツトムシ)	<p>上旬の巡回調査では、発生ほ場率2.3% (平年8.4%)、10株当たりつと数0.0個 (平年0.2個) で平年に比べやや少なかった。</p> <p>下旬の巡回調査では、発生ほ場率1.2% (平年4.9%)、10株当たりつと数0.0個 (平年0.1個) で平年に比べやや少なかった。</p>	県内全域	少 462
斑点米カメムシ (調査ほ場数：上旬24、 下旬35)	<p>上旬の巡回調査(出穂ほ場)では、発生ほ場率75.0% (平年59.2%)、20回すくい取り虫数2.2頭 (平年2.1頭) で平年並みであった。</p> <p>下旬の巡回調査(出穂ほ場)では、発生ほ場率80.0% (平年53.5%)、20回すくい取り虫数2.9頭 (平年1.5頭) で平年に比べ多かった。主要種はアカスジカスミカメ、イネカメムシであった。</p> <p>予察灯(県内4か所、7月26日～8月25日)における誘殺数は、898頭 (平年1,127頭) で平年並みであった。主要種のアカスジカスミカメ605頭(平年849頭：平年並)、クモヘリカメムシ51頭(平年100頭：平年並)、アカヒゲホソミドリカスミカメ49頭(平年76頭：平年並)、ミナミアオカメムシ0頭 (平年14頭：少)、イネカメムシ193頭(平年112頭：やや多)であった。</p>	県内全域	多 462 中 2,079 少 3,927 計 6,468
ニカメイガ (調査ほ場数：上旬86)	上旬及び下旬の巡回調査では、発生は認められず、平年並みであった。	—	—
フタオビコヤガ	<p>上旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年2.1%)、10株当たり虫数0頭 (平年0.0頭) で平年に比べやや少なかった。</p> <p>下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年0.8%)、10株当たり虫数0頭 (平年0.0頭) で平年並みであった。</p>	—	—

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)	
ダイズ べと病 (調査ほ場数：21)	下旬の巡回調査では、発生ほ場率47.6% (平年31.8%)、発病株率31.6% (平年22.7%)、発病度8.0 (平年5.7) で平年に比べやや多かった。	県内全域	中	41
			少	373
			計	414
葉焼病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率9.5% (平年12.0%)、発病株率3.4% (平年4.2%)、発病度1.0 (平年1.2) で平年並みであった。	県内全域	少	83
立枯性病害	下旬の巡回調査では、白絹病の発生ほ場率4.8% (平年4.8%)、発病株率0.1% (平年0.1%) で平年並みであった。	県内全域	少	41
葉枯性病害 (褐色輪紋病、斑点病)	下旬の巡回調査では、褐色輪紋病の発生ほ場率14.3% (前年0%)、発病株率1.1% (前年0%) であった。	県内全域	少	124
吸実性カメムシ類 (調査ほ場数：上旬20、 下旬21)	上旬の巡回調査では、発生ほ場率40% (平年30.8%)、1㎡当たり虫数0.2頭 (平年0.2頭) で平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率52.4% (平年37.1%)、1㎡当たり虫数0.3頭 (平年0.2頭) で平年に比べやや多かった。 予察灯 (県内4か所、7月26日～8月25日) の誘殺数は26頭 (平年50頭) で平年並みであった。主要種のイチモンジカメムシ5頭 (平年10頭：平年並)、アオクサカメムシ21頭 (平年27頭：やや多)、ミナミアオカメムシ0頭 (平年14頭：少) であった。	県内全域	中	83
			少	373
			計	456
フタスジヒメハムシ	上旬の巡回調査では、発生ほ場率55.0% (平年58.7%)、1㎡当たり虫数4.1頭 (平年2.4頭) で平年に比べやや多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率61.9% (平年71.1%)、1㎡当たり虫数2.9頭 (平年15.2頭) で平年に比べやや少なかった。	県内全域	多	207
			中	124
			少	207
計	538			
ウコンノメイガ	上旬の巡回調査では、発生ほ場率5.0% (平年19.4%)、被害株率0.6% (平年2.2%) で平年に比べやや少なかった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率9.5% (平年24.9%)、被害株率0.8% (平年5.3%) で平年に比べやや少なかった。	県内全域	少	83
サヤムシガ類	上旬の巡回調査では、発生ほ場率55.0% (平年17.8%)、25株当たり被害か所数2.4 (平年0.6) で平年に比べ多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率4.8% (平年5.7%)、25株当たり被害か所数0.1 (平年0.1) で平年並みであった。	県内全域	中	124
			少	331
			計	455

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)																		
ダイズ ハスモンヨトウ	<p>上旬の巡回調査では、発生ほ場率10.0% (平年14.4%)、1a当たりの白変か所数0.1か所 (平年0.2か所)、1㎡当たり虫数は0.1頭 (平年0.1頭) で平年並みであった。</p> <p>下旬の巡回調査では、発生ほ場率19.0% (平年38.5%)、1a当たり白変か所数0.1か所 (平年0.8か所)、1㎡当たり虫数は0.4頭 (平年1.0頭) で平年に比べやや少なかった。</p> <p>8月の山口市大内のフェロモントラップによる誘殺数は、1,934頭 (平年3,175頭) で平年並みであった。</p> <p>フェロモントラップ (県内5カ所) における7月21日～8月20日の誘殺数は4,663頭 (平年6,031頭) で平年並みであった。</p> <p style="text-align: center;"><b>フェロモントラップでの誘殺数(頭)</b></p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>地点</th> <th>本年</th> <th>平年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>周南市熊毛</td> <td>112</td> <td>1,740</td> </tr> <tr> <td>山口市阿東</td> <td>467</td> <td>782</td> </tr> <tr> <td>萩市明木</td> <td>213</td> <td>109</td> </tr> <tr> <td>下関市清末</td> <td>588</td> <td>644</td> </tr> <tr> <td>柳井市伊陸</td> <td>1,692</td> <td>1,181</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">※7月21日～8月20日の合計</p>	地点	本年	平年	周南市熊毛	112	1,740	山口市阿東	467	782	萩市明木	213	109	下関市清末	588	644	柳井市伊陸	1,692	1,181	県内全域	少 166
地点	本年	平年																			
周南市熊毛	112	1,740																			
山口市阿東	467	782																			
萩市明木	213	109																			
下関市清末	588	644																			
柳井市伊陸	1,692	1,181																			
ウワバ類等の チョウ目	<p>上旬の巡回調査では、発生ほ場率60.0% (平年74.9%)、1㎡当たり虫数0.4頭 (平年1.5頭) で平年に比べ少なかった。</p> <p>下旬の巡回調査では、発生ほ場率81.0% (平年78.3%)、1㎡当たり虫数0.9頭 (平年1.3頭) で平年に比べやや少なかった。</p>	県内全域	多 41 中 373 少 290 計 704																		

## 2 果樹

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)
カンキツ (調査ほ場数:19) かいよう病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率15.8% (平年10.5%)、発病果率0.6% (平年0.9%)、発病度0.3 (平年0.4) で平年並みであった。	県内全域	少 172
そうか病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率5.3% (前年15.0%)、発病果率0.2% (前年1.2%)、発病度0.1 (前年0.9) であった。	県内全域	少 57
黒点病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率47.4% (平年82.0%)、発病果率7.6% (平年23.8%)、発病度1.7 (平年6.1) で平年に比べ少なかった。	県内全域	少 517

2021年8月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)	
カンキツ ミカンハダニ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率21.1% (平年45.0%)、寄生葉率5.1% (平年8.1%) で平年に比べやや少なかった。一部ほ場で多発生がみられた。	県内全域	甚	57
			少	172
			計	229
ミカンサビダニ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年0.5%)、寄生果率0% (平年0.0%) で平年並みであった。	—	—	
チャノキイロアザ ミウマ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率5.3% (平年17.0%)、被害果率0.1% (平年0.5%) で平年に比べ少なかった。	県内全域	少	57
ナシマルカイガラムシ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率26.3% (平年28.5%)、寄生果率1.7% (平年2.1%) で平年並みであった。	県内全域	多	57
			中	57
			少	172
			計	286
イセリアカイガラムシ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率6.3% (平年2.0%) で平年に比べ多かった。	県内全域	少	57
ルビーロウムシ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率6.3% (平年0.5%) で平年に比べ多かった。	県内全域	少	57
ヤノネカイガラムシ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年0.5%) で平年並みであった。	—	—	
ツノロウムシ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年0.5%) で平年並みであった。	—	—	
アブラムシ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (前年0%)、寄生新梢率0% (前年0%) であった。	—	—	
ナシ ナシヒメシンクイ	7月26日～8月25日の萩市小川のフェロモントラップによる誘殺数は26頭 (平年49.5頭) で平年に比べ少なかった。	県内全域	—	
果樹全般 カメムシ類 (チャバネアオカ メムシ、ツヤアオカ メムシ、クサギカ メムシ)	7月26日～8月25日の予察灯 (県内5か所) における誘殺数は362頭 (平年550頭) で平年並みであった。 7月26日～8月25日のフェロモントラップ (県内4か所) によるチャバネアオカメムシの誘殺数は37頭 (平年3,310頭) で平年に比べやや少なかった。	県内全域	—	

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)																		
野菜、花き類 アブラムシ類	8月の山口市大内の黄色水盤トラップによる誘殺数は、211頭(平成25年256頭)で平成に比べやや多かった。	県内全域	—																		
ハスモンヨトウ	8月の山口市大内のフェロモントラップによる誘殺数は、1,934頭(平成31年3,175頭)で平成並みであった。 フェロモントラップ(県内5カ所)における7月21日～8月20日の誘殺数は4,663頭(平成31年6,031頭)で平成並みであった。  <u>フェロモントラップでの誘殺数(頭)</u> <table border="1"> <thead> <tr> <th>地点</th> <th>本年</th> <th>平成</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>周南市熊毛</td> <td>112</td> <td>1,740</td> </tr> <tr> <td>山口市阿東</td> <td>467</td> <td>782</td> </tr> <tr> <td>萩市明木</td> <td>213</td> <td>109</td> </tr> <tr> <td>下関市清末</td> <td>588</td> <td>644</td> </tr> <tr> <td>柳井市伊陸</td> <td>1,692</td> <td>1,181</td> </tr> </tbody> </table> ※7月21日～8月20日の合計	地点	本年	平成	周南市熊毛	112	1,740	山口市阿東	467	782	萩市明木	213	109	下関市清末	588	644	柳井市伊陸	1,692	1,181	県内全域	—
地点	本年	平成																			
周南市熊毛	112	1,740																			
山口市阿東	467	782																			
萩市明木	213	109																			
下関市清末	588	644																			
柳井市伊陸	1,692	1,181																			
オオタバコガ	8月の山口市大内のフェロモントラップによる誘殺数は、16頭(平成26年26頭)で平成並みであった。	県内全域	—																		
シロイチモジヨトウ	8月の山口市大内のフェロモントラップによる誘殺数は、25頭(平成62年62頭)で平成並みであった。	県内全域	—																		
コガネムシ類	7月26日～8月25日の予察灯(県内5カ所)における誘殺数は453頭(平成39年391頭)で平成に比べやや多かった。	県内全域	—																		

お問い合わせ先

山口県病害虫防除所

TEL (083)927-4006

E-mail a172011@pref.yamaguchi.lg.jp